

宮古の風



～ 新しい風は東から ～

「小学校低学年研修会」において「幼保小の架け橋プログラム」についての説明がありました。「スタートカリキュラムを5歳児～1年生の終わりまでの2年間で考える」「資質・能力をつなぐ」「学校に子どもたちを合わせるのではなく子どもたちに学校が合わせる意識」…。次年度のスタートカリキュラムがどのように変わっているか楽しみです。 文責：上田 佳穂

今年度の基本研修を振り返って…



コロナ感染症の対策を講じながら、皆様のご理解とご協力のおかげで1年間の基本研修を予定通り進めることができました。

今年度は、久しぶりに生の授業を参観したり研修者同士で学びを共有したりすることができました。先生方の研修に臨む姿は大変素晴らしく、主体的に自身の実践を振り返ったり、改善の見通しをもったりするなど、研修内容を「自分事」として捉えていることが伝わってきました。

大切なことは、研修者の先生方が学びをアウトプットすることによって、その学びがさらに深まることです。それを行うことで一人の学びが全体の学びになっていきます。研修者の先生方におかれましては、同僚の先生方に研修で得た学びを積極的に伝え、共有していただきたいと思います。

教育事務所実施の基本研修が、研修者の先生方と各学校のニーズに添えるものになるよう、今年度の成果と課題を振り返りながら次年度の計画を立てていきます。

【初任者研修】

一般研修を2回、授業研修を3回実施しました。一般研修では、「いわての復興教育」や「学級経営及び生徒指導」など、岩手の教員としての実践的指導力を培うための研修を行いました。「先輩教員から」では、宮古市立鎌ヶ崎小学校の村上輝先生から「児童との信頼関係の大切さ、児童と学級をつくっていくこと」について、宮古市立田老第一中学校の小川健斗先生からは「生徒をよく観察し、必要に応じて話しかけたり、時には見守ったりすることの大切さ」について学ぶことができました。

授業研修では、宮古市立田老第一小学校柴田かなた先生の算数、宮古市立崎山中学校佐々木啓輔先生の道徳、特別活動（映像視聴）の授業を参観し、授業づくりや個に応じた指導の進め方について学ぶことができました。



一般研修「先輩教員から」の様子

【2年目研修】

一般研修では、宮古市立津軽石小学校の滝澤真貴子副校長先生から「学級経営における課題と改善、基本的なアセスメントの進め方」について講義いただき、「学級経営と児童生徒理解」について学びを深めることができました。

授業研修では、宮古市立千徳小学校の藤田愛先生の授業や、講義・演習を通して「特別活動における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」について学びを深めることができました。



一般研修
講義「学級経営と児童生徒理解について」
(講師：宮古市立津軽石小学校 滝澤 真貴子先生)

【5年研修】

一般研修では「コミュニティ・スクール及び教育振興運動の基本的な考え方」や「児童生徒のメンタルヘルス」、「自殺予防教育・不応児童生徒対応の組織的な進め方について」等、児童生徒指導に関する研修を行いました。

授業研修では、宮古市立鎌ヶ崎小学校の樋口政範先生の学級活動の授業を参観したり、道徳教育・道徳科の指導についての講義を聞いたりし、指導力の向上を図ることができました。

参加者からは「自校の全体計画を見直し、育てたい子どもの姿を改めて確認することができた。」「全職員で共通理解を図り、学校全体として子どもたちに指導していきたい。」等、組織的な取組の大切さについての感想が寄せられました。



授業研修「授業研究会」の様子

【中堅教諭等資質向上研修講座】

一般研修で「ミドルリーダーに求められる資質」について考え、見通しをもって、研修を積んできました。

公開研究会参加研修では、小・中・高の先生方が集まり、異校種の学びについて交流しました。公開参加での気付きや疑問について話し合い、自身の授業改善の取組について考えを深めることができました。参加者からは「同じ学年の先生や関わりのある先生と連携し、協働の意識をもって仕事をしていきたい」といった感想が寄せられました。

最後の研修会（自己研修シェアリング）はオンライン研修で行いました。「自己研修の取組の成果と課題」についてグループで協議をし、学びを深めたり広げたりすることができました。



公開研究会参加研修での交流の様子

国語を通して人間を育てる～授業力向上マイスター授業公開・研修講座から～

2月1日（水）山田町立山田中学校 嶋崎幸子 指導教諭による、授業力向上マイスター授業公開・研修講座「中学校国語」を開催いたしました。文学「走れメロス」について、「①言葉にそくして作品を読み取る。②作者の意図的な作品の構成、表現技法や表現の仕方などに注意しながら作品を読み取ることができる。③作品全体から伝えたいこと（主題）を考える。」を単元の目標として指導計画を構想し、本時では「妹の婚礼」の場面について内容を捉える学習を行いました。

【研修参加者の感想】

読み取りや心情、本音が表出されていて、これぞ「授業の肝＝学び合い」と感じながら拝見しました。

生徒たちの国語を楽しんでいる姿、メロスが好きなんだとわかる姿が、とても印象的でした。嶋崎先生の「国語は言葉がたより、手がかかりだから」という話から、「言葉を大切に読む」ということをもっともっと大切にしていきたいと思うことができました。

これまで自分が気付かなかった視点での授業の内容、生徒に捉えさせたい授業者の思いを見せていただきました。

「健やかな体の育成」～60（ロクマル）プラスプロジェクト～



岩手の将来を担う子供たちの「健やかな体の育成」に向けて、児童生徒一人ひとりのよりよい生活の確立が図られるよう、令和4年度から新たに「60（ロクマル）プラスプロジェクト」推進事業を実施しています。「運動習慣」「食習慣」「生活習慣」を相互に関連付けた一体的な取組を推進することにより、組織全体での取組の活性化を図ります。令和4年度の取組はいかがだったでしょうか。

令和4年度60プラスプロジェクト優良実践校決定

「宮古市立崎山小学校」

★（崎山小学校の主な取組紹介）

- (1) 運動習慣：①サーキット運動（スポーツチャレンジ、崎山トレーニング） ②サンマラソン ③ソーラン ④なわとび
- (2) 食習慣：全学年、栄養教諭による食育指導、健康教育の提案授業
：校内で健康教育推進班を組織

★ICT活用「ロイロノート・アンケート」 *保護者、家庭との連携
児童の実態把握のため、ロイロノートのアンケート機能を活用。振り返りの印をつけるとともに、保護者からは、ロイロノートのメモ機能を活用して、「一言」をもらうように工夫した。